

令和元年度亀山地区社会福祉協議会総会

亀山地区社協は、5月26日(日)亀山公民館で令和元年度の代議員総会を開催。総会には来賓の河野博一 亀山小学校校長、若佐健司 安佐北区社会福祉協議会事務局長、社協役員・代議員75名が参加しました。

総会に先立ち物故者に黙祷、事務局より総会成立の宣言で開始(出席者69名、委任状76名、総計145名)。大畠正彦会長の挨拶、来賓の方々の祝辞に続き、議長に中坊 寛氏(中大毛寺)を選び議事に入りました。平成30年度の事業・決算・監査報告及び令和元年度の事業計画・予算案が、質疑応答をへて原案通り承認可決されました。その後、『地域を取り巻く福祉の現状と今後について』安佐北区社会福祉協議会事務局長 若佐健司氏の講演がありました。

総会議事終了後、好評を頂いている亀山小学校の児童による作文発表もありました。(5・6・7面掲載)

福祉の令和元年
少子高齢化に若い人の力を

亀山地区社会福祉協議会

会長 大畠 正彦

平素より亀山地区社協の活動に対しまして、ご理解・ご協力・ご支援をいただいております事を感謝し、厚くお礼を申し上げます。

令和元年は私が会長職を受けて11年目になります。この間、社会福祉とは何かの問いかけに“人を手助けして・みんなが幸せになる”—この事を大切にして、地域福祉のまちづくりは如何にあるべきかを自問自答しながら、皆様と共に福祉活動を推進してまいりました。

現在の日本を取り巻く社会環境は、少子高齢化、人口減少が急速に進んでおり、この事態に伴う課題に喫緊(きつぎん)の問題として取り組んでおります。

少子高齢化施策の「高齢化」福祉は、団塊の世代が後期高齢者を迎える6年後に向け『医療費・介護費』が膨らむことが避けられず、国は対応策として「地域包括ケアシステム」を導入して取

り組んでおります。亀山地区社協も積極的に事業の中に、織り込んでおります。

一方の「少子化」も切迫した課題であります。国からは幅広い施策は示されておりますが、全般に判りにくく、広島市も『広島市子ども施策総合計画』等によって「子育て育児支援事業」としての施策を出しています。これを受ける広島市社協・地区社協も具体的な福祉施策はまだ示されておられません。亀山地区社協としては「少子化」の事業は「子育て育児サロン」への支援、「学区内子ども福祉向上と健全育成の支援」等の側面からの支援で、具体的な活動はありません。

亀山地区社協としてこれからの「少子化」は、如何にあるべきか若い人と共に議論し、地域福祉事業に反映する必要があると考えます。

この活動の推進に、ぜひ、若い人達に社協事業の中に参画いただき、共に「亀山地区福祉のまちづくり」を推進したいと思っております。

—出来ることから

小さな福祉を亀山の地から—

今年度も皆さまのご支援ご協力を宜しくお願い致します。

平成30年度事業報告

(福祉推進事業)

年 月 日

- | | | |
|----------|--|----------|
| 30. 4. 4 | ひとりくらしの花見会 参加者48名 | 可部運動公園 |
| 30. 7.18 | 食中毒予防講習会 演題「家庭で出来る食中毒予防」 参加者45名
(講師 広島市健康福祉局保健部食品保健課 杉野英介氏、松浦加奈氏) | 亀山公民館 |
| 30.10. 3 | ひとり・ふたりくらしの集い 参加者154名 懇親会146名
演目 漫談・落語 (講師 温々亭 眞喜子氏) | 亀山公民館 |
| 30.10.19 | 男の料理教室(前期) 参加者20名 (講師 奥野昭代氏) | 亀山公民館 |
| 30.11.11 | 亀山地域祭りで福祉バザー開催 | 亀山公民館 |
| 30.11.16 | ひとりくらしの集い 日帰りバス旅行 参加者46名 | いこいの村しまね |
| 30.12. 9 | 在宅要介護者及び介護者への配食と激励訪問
要介護者17名、介護者14名 計31名 | 亀山集会所 |
| 31. 2.17 | ふれあい福祉会議と懇親会 参加者84名 懇親会38名
演題 「亀山地域のこれから」 (講師 中西内科 院長 中西重清氏) | 亀山集会所 |
| 31. 3. 1 | 男の料理教室(後期) 参加者26名 (講師 奥野昭代氏) | 亀山公民館 |

(各種会議)

- | | | |
|----------|-------------------|--------|
| 30. 4.11 | 亀山地区社会福祉協議会 会計監査 | 社協かめやま |
| 30. 5.10 | 亀山地区社会福祉協議会 理事会 | 亀山公民館 |
| 30. 5.20 | 亀山地区社会福祉協議会 代議員総会 | 亀山公民館 |

(広報活動)広報紙「かめやま」発行

111号(7月1日) 112号(10月31日) 113号(3月31日) 3回発行

(社協関連団体事業)

- | | | |
|----------|--|--------------|
| 30. 8.25 | いきいき子育て応援フェスタinかめやま | 亀山公民館 |
| 30.11.29 | 広島市社会福祉大会
(受賞者 中島吉幸、鹿田義弘、大田哲生、太田 密) | 広島市総合福祉センター |
| 31. 2.12 | 安佐北区社会福祉大会
(受賞者 吉村昭彦、藤井房光、花本姫美子) | 安佐北区総合福祉センター |

(その他の事業)

- | | | |
|----------|--|--------|
| 30. 7.13 | 亀山学区献血推進運営委員会 | 亀山公民館 |
| 30. 9.29 | 亀山学区献血実施 受付者数 75名 採血者数 61名
*全員400ml採血 | アルゾ可部店 |

(支援事業)サロン活動くつろぎ会・子育てサロン

平成30年度決算・令和元年度予算

収入の部

(単位：円)

費目	30年度決算	元年度予算	摘要 (元年度)
繰越金	482,116	641,899	平成30年度より繰入れ
会費	592,200	592,200	一世帯拠出150円×3,948世帯
安佐北区社協からの助成金	540,000	540,000	亀山地区社協運営費・事業費・推進事業費
寄付金	416,000	300,000	香典返し、見舞い返し、その他
負担金収入	184,000	184,000	ひとりくらしのバス旅行個人負担 4,000円×46人
	146,000	146,000	ひとり・ふたりくらしの集い個人負担 1,000円×146人
	77,500	90,000	ふれあい福祉会議と懇親会個人負担 2,000円×45人
事業収入	79,550	0	福祉バザー中止
雑収入	23,006	17,000	共同募金事務手数料・預金利息・自治連家賃負担金
収入合計	2,540,372	2,511,099	

支出の部

(単位：円)

費目	30年度決算	元年度予算	摘要 (元年度)
会費	197,400	197,400	安佐北区社協会費 50円×3,948世帯
事務所維持経費	127,554	128,200	家賃、水道料、電気料、電話料
事務費	143,188	141,000	はがき、切手、プリント、研修会、謝礼等
会議費	0	0	会場費
広報費	233,920	236,400	広報紙「かめやま」 3回発行(各4,300部×12頁)
福祉事業費	924,414	968,300	ひとりくらしの花見会、ひとりくらしのバス旅行、ひとり・ふたりくらしの集い、男の料理教室、在宅要介護者及び介護者への配食と激励訪問、ふれあい福祉会議と懇親会、いきいきサロン助成金、子育てサロンプーさん・どーなつつ助成金、ボランティアバンク活動費、災害被害者見舞金・被災者援助活動費
コミュニティ活動推進費	168,997	172,000	敬老会事業(白寿・米寿祝い、在宅要介護者見舞い等)
団体助成金	103,000	100,000	子ども会育成協議会、青少年健全育成協議会、母親クラブ
支出合計	1,898,473	1,943,300	
次年度繰越金	641,899	567,799	
合計	2,540,372	2,511,099	

令和元年度 事業計画

〔基本的考え方〕

少子高齢化、核家族化、人口減少の中、社会全体で支えあう力「自助・共助・公助・互助・近助」が大切です。しかし、現在私たちの周りでは、隣近所付き合いが希薄になり、高齢者、子育てや介護をめぐる問題が顕在化し、社会的に援護を求める人が多くなっています。この事は、地域における支え合いとしての事業が重要となります。亀山地区社協も活動のあり方に変革を求められています。そのひとつが「地域包括ケアシステム」を基軸とした「高齢者の支え合い事業」と、少子化を見据えた「子育て支援等の事業」の構築です。従来の“住んで安全 暮らして安心 絆のまち かめやま”を活動の中心にしながら、変わろうとする社会福祉の在り方の情報収集を行い、若年層の意見を聞き、活動に随時反映させていきます。

〔実施計画〕

【福祉のまちづくり4つの要素】 (1)安心して暮らせるまちづくり (2)共に暮らせるまちづくり (3)支えあえるまちづくり (4)潤いのあるまちづくり——を目指します。具体的には、地域における高齢者・介護を必要とされる方、その他住民への福祉支援を以下の3つに分け、重要活動として取り組んでいきます。

- ① 訪問型活動の⇒「安心ネットワークづくり」
- ② 参加型活動の⇒「ふれあいいきいきサロン」
- ③ 発掘、養成、需給調整活動の⇒「ボランティアバンク活動」

これらの活動を実施するためのツールとして「緊急医療情報キット」「緊急時見守り通報ネットワーク」の充実、「サロン利用活動」「ボランティアバンク」「高齢者への見守り活動」「住民主体型生活支援サービス」の更なる充実と定着化を図ります。また、活動拠点となる事務所「社協かめやま」を充実させ、皆さまの身近な亀山地区社協として、より多くの方が利用できる仕組み作りに取り組んでいきます。

亀山地区社協の事業運営に携わっていただく人材を求めています。特に、財政支援をしている団体からの若い人の協力を求めます。

〔事業計画〕

福祉事業

- ①あいさつ声かけ運動 ②見守り活動の推進・ひとり、ふたり暮らし等の方々への訪問、見守り・「緊急連絡体制」「緊急連絡カード」「災害時の要介護要援護者の支援」及び「安心箱」の設置・「となり組」活動を推進し絆を深めていく ③地区内の介護施設との交流 ④「地域包括ケアシステム」の導入を推進 ⑤「社協かめやま」の〈相談日〉のPR

高齢者福祉の向上

- ①在宅高齢者(要介護4・5)へのお見舞い
- ②在宅高齢者とその介護者及び95歳以上の

- ③ひとり暮らし高齢者に配食・励まし訪問
- ③ひとり暮らし高齢者のつどいを開催(花見会・日帰り旅行・その他)
- ④ふたり暮らしの高齢者のつどいを開催(つどい及び懇親会・その他)
- ⑤男性のための料理教室
- ⑥その他各地域における高齢者を対象とした事業への支援

敬老事業

- ①米寿・白寿の方にお祝い金
- ②各地域の敬老の日に祝辞

ボランティアバンクの充実と活動の定着

- ①バンク員を再募集し、派遣事業の充実を図る
- ②バンクスタッフの強化
- ③サロン新規

開設の支援 ④『住民主体型生活支援訪問サービス』事業との連携を強化

「ふれあいいきいきサロン」への支援充実

①幅広く参加者を募る(特に男性) ②サロン間の交流 ③ボランティアバンクの活用 ④亀山地域包括センターの支援による「ふれあいいきいきサロン」の充実 ⑤新規開設の支援

「子育て育児サロン」への支援充実

①サロン間の交流 ②新規開設の支援

災害被害者への援助

火災、風水害等の被災世帯に見舞金

学区内諸団体との活動推進会議・福祉懇談会の開催

①理事・代議員及び地域の福祉施設関係者

等による研修会、情報交歓会・懇談会の開催
②学区内諸団体の代表者及び関係者等による組織内活性化(会員の加入促進)等の情報交換会の開催

各地域福祉活動、子ども福祉の向上と健全育成の支援

子ども会育成協議会・青少年健全育成連絡協議会・母親クラブ活動・子ども見守り活動等への支援

広報活動事業

広報紙「かめやま」を年2回以上発行・変わろうとしている社会福祉の情報収集

自主財源の確保

寄付(香典・見舞い・お祝い返し)の呼びかけ

かめやま広場



優しい、安心、
素敵な亀山



亀山小学校6年 新田 心美

私は、5年生の時に亀山へ引っ越してきました。亀山にはいいところがたくさんあります。

まず1つ目は、亀山小学校です。亀山小学校は、児童が800人近くいて、初めはとても驚きました。学校では色んな活動をしていて、引っ越してきたときよりもあいさつが増えました。

2つ目は、亀山の町には有名なレストランやお寺や神社があるということです。

有名なレストランは、インターネットの中でもクチコミ数が多くて、他の地域からも来る人がいるくらい有名で、私も行ったことがないので今度行ってみようと思いました。

両延神社は、かなり有名で、私が小さい頃にも行ったことがありました。毎年お祭りがあって、みんなが楽しめるようにおみこしをしたり、お客さんが喜ぶおもてなしをしたりしてい

ました。お祭りだけでなく、これは私も初めて知ったことですが、両延神社では七五三をやっているということです。これを聞いたときは、「え、七五三もやっとな」と広島弁がでるほど驚きました。

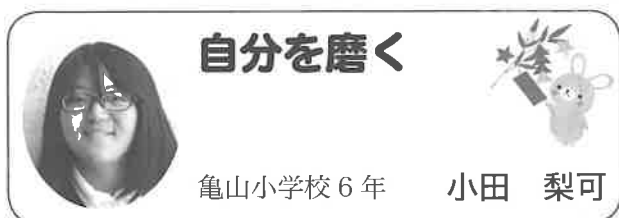
3つ目は、亀山の町の人々です。学校の帰り道、家に帰るのには坂があって、疲れていたら、おばあちゃん達が「上がるのがんばってね」と話しかけてくださいました。亀山の人は優しいのでとても安心します。

さらに、ボランティアの人が亀山の町をきれいにしておられます。町がきれいになることは、亀山へ来た人への思いやりなのかとも思いました。

このように、亀山にはいいところがたくさんあります。地域の人々が色んな活動をして来られたから、他の地域からもたくさんの方が来ていて、いつもにぎわっていて元気な町なのだと思います。亀山の人々は、人が人のためにがんばっているということが分かりました。だから、亀山の人は優しい人がたくさんいるのかと気づ

きました。

私も、引っ越してきて、とても安心できると思いました。亀山は優しくて安心できて素敵な町です。



亀山小学校 6年 小田 梨可

私の学校では、亀山っ子四ヶ条というものがあります。

それは、「時間を守る」「黙って掃除」「身だしなみ」「進んであいさつ」です。

私とその取り組みで大切に思っていることは、「時間を守る」です。

その理由は、「時間を守ることは、約束を守ること」だからです。6年生になって、先生が「時間をきちんと守る人は、人からも信頼してもらえる」と言われていましたが、私もその意味が分かる気がします。時間を守らないということは、約束や規則をやぶることにつながるの、やはり信用してもらえないと思います。私は、6年生としての自覚をもって行動しなければと思いつつ、友達と遊んだり、話したりしているとどうしても気がゆるみ、ぱっと忘れてしまっている時があります。

「今、私の学校で取り組んでいることで、自分にもっと磨きをかけたい」そう思い、6年生では、時間についてさらに意識をもつことにしました。

まず、私はクラスの中でできることから、きちんとしていこうと思いました。

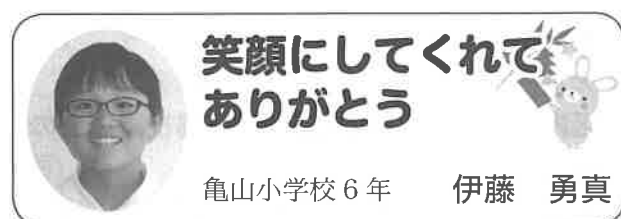
私のクラスでは、5分休憩でも、トイレなどの用が済んだら、みんな次の授業の準備をして、座っています。

先生がいない時でも、時間を無駄にするのではなく、みんなで学習を始めました。

このように、一人一人が時間を大切に思い、行動することで、メリハリも付き、落ち着いて

過ごすことができます。そしてその姿を見せることで、下学年の子たちにも、「さすが6年生だな」と思ってもらえると思います。それが、6年生への信頼につながるし、その姿を見て目指す目標としてもらいたいです。

そうなれるように、私自身、最高学年の自覚をもち、「時間を守る」亀山っ子の手本となるよう、努力していきます。



亀山小学校 6年 伊藤 勇真

日常生活の中で当たり前のことができるという事は、たくさんの人達が支えてくれているということです。

お父さんは、朝早くから夜遅くまで働いてくれています。1日会えないこともあります。ぼく達家族のためにがんばってくれています。休みの日には遊んでくれたり、いろいろな所に連れて行ってくれたりします。つかれているのにいやな顔をしないで遊んでくれるのは、うれしいです。

お母さんは、食事、そうじ、洗たくなど、身の回りのことをしてくれます。ご飯の用意や後片付けでたくさんのお皿を洗うのは、ぼくだったら時間がかかってあきらめてしまいます。洗たく物をたたむ時、大量にあるので、お母さんがたまにため息をついています。そんな時に、ぼくがタオルなどをたたむのを手伝うと言うと、はしゃぐようにとても喜んでくれました。その姿を見ると、やってよかったなと思います。今後もいろいろな手伝いをしていきたいです。

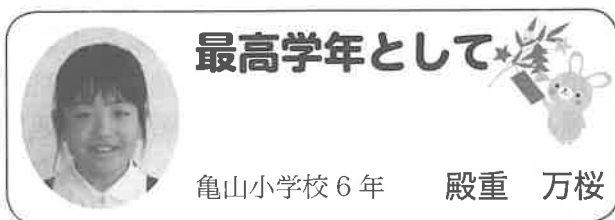
また、登下校の時には、ぼくたちの交通安全を見守ってくださっているパトロールの方々がいらっしやいます。「おはよう」「おかえり」といつもやさしい表情であいさつをしてくださいます。ぼくも元気に大きな声で「おはようございます」「ただいま帰りました」と言っています。

とても気持ちがいいです。危ない時にはしっかりと注意してくれて安全に通学することができます。けがをした時には、消毒やばんそうこうで手当てをしてくださいました。その時はいたみもなくなり登校できたのを覚えています。ぼくは、勝木台に住んでいて、学校まで距離があるので気をつけないといけないことがたくさんあります。不審者のニュースも多いので気をつけないとイケません。だから、朝と夕方にパトロールにきてくれるのはうれしいです。悪いことは起きない気がします。

もし、ぼくを支えてくれている人達がいなくなるとどんなにつらくなるか、考えることもできません。パトロールの方がいなくなると、不審者につかまったり事故にあったりするかもしれません。お父さんやお母さんがいなくなることも考えられません。

当たり前のことができるのは本当に素晴らしいことだと思います。だからぼくは、ぼくを支えてくれて笑顔にしてくれるたくさんの人達に伝えたいです。

「毎日いつも、ありがとう」



最高学年として
亀山小学校6年 殿重 万桜

わたしは今、亀山小学校の中で頑張っていることが3つあります。

1つ目は、時間を守ることです。去年、わたしたちは野外活動に行きました。野外活動のしおりには、「5分前行動をしよう」と書いてありました。最初は「なんで5分前には集合しないといけないんだろう」と思っていたけど、実際に行動してみると、心に余裕をもつことができました。それから、わたしはいつも5分前、早いときには10分前行動を意識しています。意識することで、周りの友達にも声をかけることができました。今年は去年よりもっと意識して

頑張りたいです。

2つ目は、進んであいさつをすることです。わたしは、今までパトロール隊の方があいさつをしてくれても返していませんでした。だけど、「それじゃだめだ」と思い、あいさつをすることを決めました。そしたら、パトロール隊の方だけでなく、通りすがりの人にも「こんにちは」「おはようございます」と元気にあいさつをすることができるようになりました。これからは、1年生や下級生にあいさつをしようねと声をかけていきたいです。

3つ目は、無言行動です。わたしは、ついしゃべってしまう時が時々あります。そしたら、必ず先生が「無言行動をしましょう」と言います。どうしたら無言行動ができるようになるのかわたしは考えました。そして、「口を開かなかつたら声はでない」ことに気付きました。気付いたことを意識して取り組んでいたら、先生にほめられました。とてもうれしかったです。

今年、わたしは最高学年になりました。最高学年は、1年生から5年生の下級生のお手本でないといけないと思います。だから、わたしは今までできていなかったことを直していけないといけません。「時間」「あいさつ」「無言行動」、亀山小学校の最高学年として下級生のいいお手本になれるように続けて頑張っていきたいです。



左から 若佐事務局長、殿重さん、伊藤くん、河野校長、小田さん、新田さん、大畠会長

広報部から

恒例となっている亀山小学校の児童による作文発表を、この広報紙に載せるため活字化しています。学校や家庭で一生懸命朗読の練習をしている姿が、原稿用紙からもうかがえました。赤鉛筆で『ここは大きな声で』『ゆっくりと』『この個所は間を取る』等、書かれています。



作文もしっかり考え、自分の意見を素直に述べています。皆さんお疲れさまでした。

亀山地域包括支援センターより **歳だからと諦めていませんか？**

筋肉は、いくつになっても鍛えることで筋力アップ可能です！

広島市では、誰もが介護予防に取り組むことのできる地域づくりを進め、介護予防活動の地域での普及・定着を図ることを目的に、地域介護予防拠点整備促進事業を実施しています。

「介護予防拠点」とは、地域住民が主体となって、高齢者が気軽に通える身近な場所で、週1回以上、運動を中心とした介護予防活動を実施する「通いの場」のことです。亀山学区内でも、現在6つの団体が広島市から介護予防拠点としての登録を受けており、参加者の皆さんは、会場となる集会所や高齢者施設で、「いきいき百歳体操」などの筋力運動に取り組んでいます。地域包括支援センターはこの事業において、各団体の介護予防拠点の立ち上げや、



活動を続けていくための支援を行っています。

この事業が始まってからまだ3年程ですが、最近では介護予防拠点が単に「集いや運動の場所」としての役割に留まらず、参加者同士による自然な形での見守り・支え合いの活動にまで発展している様子を見るようになってきました。地域の新たな宝と言える「介護予防拠点」に是非皆さんもご参加下さい。



亀山地域包括支援センターのスタッフ

地域福祉事業にご寄付

亀山社協に平成31年3月1日から令和元年5月31日までの間、次の皆様から貴重なご寄付を頂きました。

謹んでお礼申し上げます。[受付順]

◎香典返し

四日市 白井鈴子様 (夫・寛様)

◎一般寄付

住民主体型訪問サービス・ボランティア
コーディネーター様

お願い

香典、お見舞い、お祝いのお返し等を亀山地区社協へご寄付の程お願い申し上げます。

窓口は自治会長、町内会長、民生委員、社協役員です。

◎お困りごとの相談は 社協かめやま事務所へ (火・木 午前中) ☎815-4178
祝日は休みです